

幸消防団

だより

第58号

発行 平成28年6月

川崎市幸消防団

団長 高橋 克明

印刷所 (株)川崎三省堂

題字: 山田 吉三郎



団長挨拶

川崎市幸消防団

団長 高橋 克明

全国大会へつながるよう期待しております。

五月八日、河原町グランドにおいて、第四十四回幸消防団ポンプ操法大会が、多数のご来賓や消防関係団体の皆様と多くの区民の皆様にご臨席いただき、晴天のもと盛大に開催できましたことに、心から厚くお礼申し上げます。

本大会に向けて、三月のまだ寒い時期から厳しい訓練を行い、大変なご苦労があった事と思います。選手のご家族は基より、支援をして頂いた団員・ご家族の皆様に対しまして心から敬意を表します。

本大会では、各分団が消防技術の向上と士気の高揚のため切磋琢磨した結果、第二分団が優勝し、準優勝には第一分団、残る分団が敢闘賞という結果になりました。第一・第二分団は、六月二十六日に開催される川崎市消防団操法大会に出場となり、県大会、

さて、近年では各地で自然災害が相次いで発生し、近い将来大規模な地震の発生も懸念されています。熊本の地震や土砂災害にみられるように、全国各地でいつ何時でも、自然災害が起こる覚悟が必要です。

災害対応の原点は地域となり、幸区役所、道路公園センター、幸警察署、幸消防署、幸消防団、この防災関係機関の連携による水防訓練、他の災害対応訓練に励み、いざという時の災害に備えております。

結びに、私たち消防団員は、地域の安全・安心のために、より一層努力を重ねていく所存でございます。今後とも地域の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。関係各位、消防団員及びご家族皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶といたします。



署長就任挨拶

川崎市幸消防署

署長 高橋 俊勝

本年四月一日に着任し、早いもので二ヶ月以上がたちました。この間、団員の皆様とはポンプ操法大会などの一連行事でお会いしたところですが、このような皆様の普段のご努力、更に日夜を問わず行なわれております地域防災へのご尽力に対し、深く敬意を表します。

また、昨年度発生しました連続放火に際しましては、消防団はもとより、当署及び防災関係機関等とのご協力のもと、巡回警備等によって、その効果が発揮され、今年度は未だ同様な事案の発生には至っておりませんが、今後も引き続き警戒を怠らず、更に各防災関係機関等との連携した予防広報等を行ってまいりたいと思っております。

さて、今年度に入り、四月九日には川崎市多摩区の福祉施設などが入る三階建ての建物から火災が発生し、消防車十二台が出動し、施設の男性職員と利用者の男女三人のあわせて四人の怪我人が発生しましたことから、消防局では早急に避難管理等の状況を確認するため、特別立入検査(当署管内三対象)を実施したところでございます。

また、熊本県において四月十四日の前震、十六日の本震と二度にわたる震度七という大規模な地震が発生し、死者五十名、避難住民約三万七千人という激甚災害に対し、地元消防団員はもとより、国を挙げて各防災機関が対応したところでございます。

また、川崎市が都市構造や生活様式、住民意識等がガラリと変化している中、さらに追い討ちを懸けるがごとく、異常気象による大型台風やゲリラ豪雨等の自然災害が発生していることから、ますます地域防災の要として消防団の皆様方に期待が高まっています。今後におきましても本団を中心として各分団の活動により、消防団と消防署が両輪となって消防活動を行い、区民の負託に応えるよう期待するものであります。

終わりに、この幸消防団のますますのご発展と高橋消防団長をはじめ、各消防団員の皆様並にご家族のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます挨拶といたします。

消防団 隣保共助
三原 郷土愛護

犠牲奉公



辞令交付式

4月以降の消防団活動

元副団長 佐伯 正夫 様

退団 永い間お疲れ様でした



ハッピーロード商店街をパレード

早く地域の支えとなる一員になれるよう頑張ります。
よろしくお願ひします。



第四分団
出口 智子
ほがらか介護勤務

地域に根付いた活動をしていきたいです。
よろしくお願ひします。



第二分団
坂神 直樹
幸病院勤務

4月からのニューフェイス



雨の中ポンプ操法督励



積載品及びポンプの性能検査



幹部県外視察研修で有珠山噴火時の説明を受ける



水防訓練 指揮本部設置で本番さながら



第44回幸消防団ポンプ操法大会

第2分団 2年ぶり おめでとうございます

平成28年5月8日(日)第44回幸消防団ポンプ操法大会が行われました。

優勝…第2分団 **準優勝**…第1分団 **敢闘賞**…第3分団・第4分団

個人賞 指揮者…加野団員(第3分団) 1番員…村石健団員(第4分団)

2番員…堀内賢団員(第2分団) 3番員…菅 団員(第1分団)



選手宣誓 第2分団 鈴木班長



優勝した第2分団の選手



準優勝の第1分団



第3分団 お疲れ様でした



第4分団 連覇ならず「すいません」



商業高校ダンス部の皆さん ありがとう！

受賞
おめでとうございます

◎消防庁長官表彰
永年勤続功労章
(三月九日)
第四分団 分団長 村石 勉

◎日本消防協会会長表彰
功績章
(三月八日)
本 団 副団長 佐伯 正夫

勤続章(三十年)
本 団 警護部長 後藤 重春
第一分団 団 員 浦田 典明
第二分団 副分団長 新田 利幸
第三分団 分団長 松井 満
第四分団 班 長 秋元 克巳

◎神奈川県知事表彰
永年勤続優良消防団員(三十年)
(三月二十八日)
本 団 警護部長 後藤 重春
第一分団 団 員 浦田 典明
第二分団 副分団長 新田 利幸
第三分団 分団長 松井 満
第四分団 班 長 秋元 克巳

◎神奈川県消防協会会長表彰
功績賞
(三月二十八日)
本 団 広報部長 中西 善博
第四分団 部 長 菅原 文夫

勤続章(二十年)
精勤章(二十年)
第一分団 部 長 故新城 正規
第一分団 班 長 秋元 純一
第二分団 団 員 荒川富美男
第二分団 団 員 高橋 弘治
第三分団 団 員 戸田 功
第四分団 班 長 阿久津信儀

勤続章(十年)

第一分団 班 長 生方 清
第二分団 班 長 鈴木 盛樹
第三分団 班 長 南雲真知子
第四分団 班 長 藤田 良一
第四分団 班 長 三橋 庸史
精勤章(五年)
第一分団 団 員 向江 真吾
第二分団 団 員 山田 剛士
第三分団 団 員 笹崎 美雪
第四分団 団 員 鈴木 恵子

幸消防団新幹部紹介

団 長 高橋 克明
副団長 上田 常晴

新副団長 蒲田 賢

新庶務部長 塩澤 秀夫

新警護部長 後藤 重春

新消防部長 中西 善博



藍綬褒章 本団警護部長 後藤 重春 様

平成二十八年春の褒章
おめでとうございます

署 長 高橋 俊勝
予防課長 岩崎 敏幸
庶務係長 北村 健太
施設整備担当係長 藤江 誠
警防統括担当課長 竹内 正宏
警防第一課警防係長 後藤 勝充
警防第二課長 杉山 哲男
警防第二課調査係長 鈴木 浩
警防第二課 南河原出張所長 森角 哲也

幸消防署へ着任された方々です

新広報部長 松井 満
第一分団長 細谷 三康
第二分団長 中村 泰司
新第三分団長 首藤 幹夫
第四分団長 村石 勉

消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。
資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人
・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。
・班長以上の階級に3年以上在職した団員は、防火管理者の資格を得ることができます。
問合せ先 幸消防署予防課 Tel 044(511)0119
FAX 044(544)0119

編集後記

幸消防団だより五十八号をお届けします。
発行に当り、関係各位のご寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高橋 克明
編集 幸消防団広報部

第四分団 青木 真弓
第三分団 菅原 文夫
第二分団 遠藤 幸子
第一分団 鈴木 盛樹
本 団 木村 雅子
生方 清
松井 満
菅原 文夫
菅原 幸子